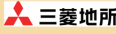



ひなたMBA令和3年度のプログラムについて

既存の価値を高める力

新たな価値を創出する力

		リーダー	中堅 (管理者)	経営者・幹部	
組織マネジメント ① 職階 ② 能力別マネジメント ③ 人材育成	プログラム実施にあたっての基本的な考え方 ① 組織マネジメントや企業経営に必要な個別スキルを中心に、企業の「今」に応える人材の育成を支援します。 ② 先の見えない変化の激しい社会において、変化に対応し、新たな価値を創造できる人材が育つ環境を整備します。 ③ 立場や業種を超えた交ざり合いによる、刺激的な学びあいの場づくり、ネットワーク形成を支援します。 ④ 研修での学びをしっかりと実践に繋げるための受講者及び企業へのフォローアップ体制を構築します。 ⑤ 質の高い学びを実現するため、中小企業大学校やグロービス経営大学院等と連携しながら、県内産業支援機関及び高等教育機関の人材の講師としての活用を図ります。	経営者塾II (次世代・現経営者) “変革”をキーワードに、これから挑戦し続ける企業経営のあり方を学び、引き寄せ、自社の変革プランを構想・具体化します。 期間：9月～1月8日	経営者塾I (若手・次世代経営者) 次世代経営者及び企業組織の要である経営幹部として身につけておくべき基礎知識を習得するとともに、経営者としての志や使命感を醸成します。 期間：8月～2月11日		
	リーダー養成 (20代後半～40代前半) 将来、組織の中心となるリーダーが、周囲に働きかけチームの目標達成を推進するための「人や組織が動くメカニズム」「リーダーの役割・リーダーとしての実行徹底力」等を学びます。 期間：9月～10月2日	管理者養成 (30代後半～50代) 革新的な経営を牽引する真のリーダー「経営管理者」になるために必要となる考え方やスキルについて、経営のかじ取りを行うための経営感覚を磨きます。 期間：8月～10月4日	経営者塾・入門 (個人事業主、中小企業経営者) 経営における戦略の意味合いとその重要性や、優位性構築を行う上での原理原則を学ぶとともに、財務三表の基本的な読み方に加え、経営活動と会計との関係性を理解します。 期間：10月～12月4日		
個別セミナー等	コミュニティリーダー塾 (20代～30代前半) 県内各地域の企業・自治体等の若手をターゲットに、次世代のコミュニティリーダー育成を目的として、継続的な学びと成長に向けた意識付けを促すとともに、業種を超えたネットワーク構築を目指します。	相手を動かし成果を導く思考スキル ビジネスを行う上で必要となる説得力ある論理の組み立て方を学ぶとともに、効果的かつ効率的に問題を解決する際の仮説検証力を高めます。また、セッションを通じて自信の思考の癖を認識します。 期間：10月～11月2日	「創造力・発想力向上」「BCP」「人材育成・確保」等 宮崎県自治学院や中小企業大学校の「サテライトゼミ」等とも連携し、企業等からのニーズに対応した個別のセミナーを実施します。	特別講演 今の時代を語るに相応しいゲストを招聘した講演を開催します。	
	三菱地所との連携講座「ひなたMBA×丸の内プラチナ大学」 県内の社会人が興味のあるテーマを学び、県内外の人材とつながることで、新規事業開発や地域課題解決のきっかけを生み出す機会を創出する。 ① ポストコロナの未来観 9月 ② DX 社会と地方創生 10月 ③ ひなたのダイナモ人となれ 11月 ④ SDGs は方法ではなく、実践するものだ 12月				 三菱地所  ECOOZZERIA
	高校生	大学生	社会人 新人・若手	社会人 中堅 (管理者)	経営者・幹部
プロジェクトデザイン	段階に応じた「プロジェクトデザイン・マネジメント講座」 大学生、社会人や各人のステージ別に、プロジェクトの立案・実装に必要な考え方やスキル、AI等の活用法を学び、実践する機会を提供することで、関係者を巻き込みながら責任を持って事業を推進する経験を重ね、新たな価値の創造に必要な「構想力」「実行力」「人間力」等を高めるための講座を構築します。				
アントレプレナーシップ	宮崎・学生ビジネスプランコンテスト 『アントレプレナーシップ教育講座』から全国大会への出場や起業に向けたアフターフォローなどの充実したサポートを提供します。		社内起業・新規事業構築講座 新ビジネスの創出、社会価値の創造に向けた実践を通じ、失敗を恐れずに踏み出し、新たな価値を見出し、創出する力を身につける講座を構築します。		

ひなたMBAが提供する「学び」のポイント

1 より本質的な「学び」とするためにプラットフォームが実施すること～宮崎ならではの“同志が高め合う、きめ細やかな学びの場”構築に向けて～

1 インターバル方式の実践的プログラム

研修の中にインターバル期間（実務での実践期間）を設け、座学と実践を往復することで学びの質を高め、その学びをしっかりと実務に落とし込むことができるプログラムを提供



2 研修の事前準備・事後フォローアップ

研修前の企業における研修の位置づけと、個人のミッションの明確化及び研修後の企業内における報告会等、受講者をしっかりとフォローアップする仕組みづくりを促進



3 実践を共にする仲間づくり

多様な人材が混ざり、高め合う仲間づくりができる環境を準備することはもちろんのこと、研修終了後に受講者同士が学びを深め合うようなネットワーク形成を支援



4 身近な人材のベンチマーク化（県内企業から講師登用）

県内の経営者等の講師に登用により、受講者が身近なベンチマークを設定できる研修体制



5 講師とのネットワーク構築

研修の講師としてのみならず、研修後も講師への相談等が可能



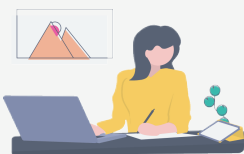
6 外部研修等の紹介による、高度な学びの提供と広範なネットワーク形成の支援

より広く、高度な学びを求める受講者及び企業に対し、県内外の研修や、中小企業大学校やグローバル経営大学院等のプログラムを紹介。また、外部研修の受講による県内外の企業等とのネットワーク形成を促進



7 人材育成を企業成長に繋げるため、企業成長促進PFや中小機構との連携強化

受講者及び企業からの事業計画等に対する相談等を、企業成長促進PFや中小機構の経営支援制度等に繋げ、企業成長にも関与



総じて、受講者が学びを実践・実務に落とし込むために一つ一つの研修を丁寧に実施することが重要であると考え、そのために1つのセミナーにコーディネーターを1名配置することで、きめ細やかな事前・事後のフォローアップ及びネットワーク形成支援を可能にし、より本質的な学びを実現することで、県内の産業及び企業を引っ張る人材の育成に取り組む。

2 プログラムの実施イメージ

